

～しぜんのざいりょうをつかって、くふうしてかつどうする～

広島市立東野小学校 児玉 敬子

1 日時・場所 11月15日(火)5・6校時、 1年2組教室 生活科ルーム ピロティ

2 学年・学級 第1学年 2組 (男子15名 女子13名)

3 題材について

○ 題材観

本題材は、秋の自然の材料を使って、見つけた材料の形や色を楽しみながら、活動するという題材である。本校の近くには、大きないちょうの木のある神社がある。また、夏に生活科で訪れた学区の公園に落ち葉を拾いに出かけ、材料集めをすることにより、身近にある自然の宝物に気付かせたい。さらに、家庭にも呼びかけて、秋の自然には、材料がふんだんにあることや自然に親しみ、それを重ねる、つなげるなどの活動を通して、五感を使ってその材料に触れ合う感触を味わう機会として、この題材を考えた。

○ 児童観

本学級の児童は、造形活動を楽しみにしており、新しい題材に興味を示す。しかし、発想が浮かばず、取りかかりが遅かったり、発想は浮かぶがそれをどう表現していいかわからず活動が止まってしまったりする児童がいる。また、これまでの生活経験の違いから、材料とどう接してよいかとまどう場面も予想される。さらに、友だちと楽しく関わりたい思いを持ちながら、伝え方が上手にできないため支援が必要な場面があると考えられる。

○ 指導観

指導に当たっては、自然の材料を改めて見直し、関わりを深める機会をもたせたい。そのために、実際に材料集めに出かける活動を取り入れていきたい。また、家庭にも呼びかけて、日頃から常に自然を見つめて感じる心を育てていきたい。さらに、実際に材料に触れ合う機会を多く持ち、五感を使ってその心地よさを味わわせたい。このように、秋の自然の材料に心を寄せることにより、発想や興味を広げて、楽しく活動に取り組むと考えられる。

材料に接する姿勢や用具の扱い方については、図画工作科や全校キラリタイムの時間の中で培い、造形活動に対する関心や基礎的・基本的な技能をつけていきたいと考える。思うように進まない児童には、教師も多くの材料を集めたり、集めた材料となかよくなれそうな用具を多く準備しておくことで、発想や活動の相談にのれるようにしておきたい。また、活動を終えた後、振り返りカードに記入することにより、作品として形が残らなくても、工夫して活動を楽しめたことを認め、友だちに紹介して、意欲を高めるようにしたい。

4 題材の目標

- (1) 自然の材料を使って、活動しようとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- (2) 材料の形や色を基に発想を広げ、造形的な活動を思いついている。 (発想や構想の能力)
- (3) 材料を探して、つないだり組み合わせたりして、思いに合わせた表現方法を選び、表し方を工夫する。 (創造的な技能)
- (4) 友だちと見せ合ったり、話し合ったりして、工夫やよさを感じ取る。 (鑑賞の能力)

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
	葉や身の回りの材料の形や色を基に、並べたり組み合わせたりすることを楽しもうとしている。	材料の形や色を基に、造形的な活動を思い付いている。	材料の並べ方や組み合わせ方を工夫している。	葉や身の回りの材料の並べ方や、組み合わせ方の楽しさやおもしろさに気付いている。
	葉や身の回りの材料の形や色の違いを基に、いろいろな並べ方や組み合わせ方に取り組みようとしている。	葉や身の回りの材料の形や色を基に、発想を広げ、様々な造形活動を思い付いている。	材料の形や色を基に、いろいろな並べ方や組み合わせ方を工夫して表している。	材料の形や色を基に、つくりたいものを友だちと見せ合ったり、話し合ったりして、工夫やよさを感じ取る。

6 指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		観点・評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する状況への 手だて
第一 次 (2)	校庭や公園で、材料となる葉や木の実、小石などの形や色の違いに（気づき、いろいろな形や色の材料を探す。	アー① 児童の様子の観察	校庭や公園で、材料となる葉や木の実、小石などの形や色の違いに気づき、いろいろな形や色の材料を探している。	一緒に児童のところへ行き、どんなことができるか考える。
第二 次 (1. 5) 本 時	落ち葉などの形や色から、いろいろなものを見立てながら好きな形に並べる。集めた材料を自由に並べ、材料とのかかわりを楽しみながら貼る。	アー① 児童の様子の観察 イー① 活動の様子の観察 ウー① 活動の様子の観察	落ち葉などの形や色から、いろいろなものを見立てたりしながら好きな形に並べている。集めた材料とのかかわりを楽しんで貼っている。	やりたいことを聞いた り、やろうとしているこ とを励ましたりする。 友だちの活動を見に行 き、ヒントにしてもよい ことを伝えたり、教師の 方からもアイデアを出 したりする。
第三 次 (0. 5)	形や色のおもしろさや工夫を感じ取り、ふりかえりカードに記入したり、友だちに伝えるなどして、楽しかった活動を振り返る。	エー① 活動の様子の観察	形や色のおもしろさや工夫を感じ取り、ふりかえりカードに記入したり、友だちに伝えるなどして、楽しかった活動を振り返っている。	教師が全体に「楽しかった？友だちのよいところを見つけた？」など質問をし、挙手でこたえるようにする。

7 学習計画（全4時間）

- (1) 第1次 であい(導入) 校庭や公園では、材料となる葉や木の実、小石などの形や色の違いに気づき、いろいろな形や色の材料を探す。
- (2) 第2次 ひろがり(展開) 落ち葉などの形や色から、いろいろなものを見立てたりしながら好きな形を考える。集めた材料を自由に並べ、材料とのかかわりを楽しんで貼る。
- (3) 第3次 ふりかえり 形や色のおもしろさや工夫を感じ取り、ふりかえりカードに記入したり、友だちに伝えるなどして、楽しかった活動を振り返る。

8 本時の目標

- (図画工作) 材料の特徴を生かして、楽しく並べたり、組み合わせたりする。
- (人間形成) 心をこめて、材料や友だちと仲よくなる。

9 準備物

- (指導者) 木工用ボンド、ホットボンド、両面テープ
 (児童) 落ち葉、木の実、小枝、つる、小石

10 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
1 本時の学習内容をつかむ。 ○ 題材名やめあて、きまり、活動場所や活動終了時刻を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが大切に集めたちきゅうからのおくりものとの出会いを大切に、楽しい雰囲気を創るように努める。 ・ 題材名やめあて、きまり、活動場所や活動終了時刻を示す。 	
2 材料を見立てて並べたり、組み合わせせて貼ったりして、造形活動を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の表現に自信のない児童には、自信をもって取り組んでいけるように、励ましや共感的な言葉かけをしていく。 ・ 集中できない児童には、友だちの活動を見に行きヒントにしていいたいことを伝え、教師も活動に加わって表現できるように支援する。 	<p>○ 自分たちが集めた材料を大切に扱い並べる、組み合わせせて貼るなどの活動を楽しみ取り組もうとする。 アー① (関)</p> <p>*児童の様子を観察</p> <p>○ 材料の色や形からアイデアを思いつき、並べたり組み合わせせて貼ったりする。 イー① (発)</p> <p>*活動の様子を観察</p> <p>○ 床に広げて並べる、友だちとつなげて並べる、材料の特徴を生かして組み合わせせて貼るなど体全体や五感をはたらかせて自分なりに工夫して表す。 ウー① (創)</p> <p>*活動の様子を観察</p>

<p>3 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • できあがった作品は、記名をして提出し、並べたり組み合わせさせて貼った材料は、もとの場所に片付けることを指示する。 • 片付けが終わった児童は、静かに教室に行き、ふりかえりカードに記入するよう伝える。 	
<p>4 活動を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ふりかえりカードに自分が表現したことや材料と仲よくなったことを記入する。作品としてできていなくても材料と仲よくなった活動について記入するよう言葉かけをする。 	<p>○ 形や色のおもしろさや工夫を感じ取り、ふりかえりカードに記入したり、友だちに伝えるなどして、楽しかった活動を振り返る。 エー① (鑑) *活動の様子を観察</p>

* この様式は、マイコンピューター→F1東野小学校→old data→data→共用→研修部→指導案2011にあります！

〔第1・2学年の共通事項〕

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

〔教科書の活用について〕

- 授業の導入や事前指導において、材料とのかかわりを深めるために、「ぞうけいずかん どんなかんじ」を活用し、材料に触れたときの感覚などを想起させ、発想を広げることにも役立つ。
- 導入において、「かたちやいろをたのしもう」から、材料となる葉や枝、人工材などの形や色を比べたり、仲間分けをしたりする。
- 接着は「つかってみようざいりょうとようぐ」を参照して対応する。